

10014 フランス語Ⅱ A b French IIA		2 年次～ 通年 2 単位	
担当者	和泉 涼一	履修可能学科	E選必 Pe選必 Pc選必 C選必 W F N
		関連資格	
サブタイトル	フランスのパリと地方：初級から中級へ		
授業内容 ・ ねらい	<p>1) 初級レベルの復習をも兼ねた授業です。あまり得意ではないという人でも、なんとかついてこれる程度の授業を心がけます。ただし初級文法の繰り返し、などということではなく、その種の説明や練習問題は最小限にとどめるつもりです。また後半は中級程度のレベルとなります。</p> <p>2) パリに始まってロワールやアルプスなど、フランス各地の風物をやさしいフランス語で読んでいきます。</p> <p>3) 当然ながらレッスンを追うごとに少しずつ語学的な難度は上がっていきませんが、内容がおもしろいのであまり苦にならないでしょう。最終的にはフランス語中級のレベルを目指します。ここまでくればもう免許皆伝です。</p> <p>4) 秋にはフランス語検定試験 4 級に合格する実力を養います。</p>		
授業計画	<p>前期 第1回フランス 第2～3回パリ、第4～5回イル・ド・フランス、第6～7回ロワール、第8～9回コートダジュール、第10～11回ブルゴーニュ、第12～13回ブルターニュ、第14～15回まとめ</p>	<p>後期 第16～17回ノルマンディー、第18～19回プロヴァンス、第20～21回アルザス、第22～23回ローヌとアルプス、第24～25回コルシカ、第26～28回シャンソン、第29～30回まとめ</p>	
教科書 参考書	<p>教) 野村二郎『フランス、言葉と文化の旅』(第三書房)</p> <p>参) 清岡智比古『フラ語入門、わかりやすいにもホドがある!』(白水社) (参考書の購入は任意です)</p>		
評価方法	<p>授業中の活躍度(宿題をやってきたか、など)と定期試験によって判定します。</p> <p>実用技能フランス語検定試験による単位認定の方法もあります(担当教員に問い合わせてください)。</p>		
事前準備学習 履修条件等	<p>外国語の勉強はなによりも根気が大事です。予習と復習はきちんとやりましょう。フランス語ⅠAの単位を修得していることが必要です。</p>		